

ポスター・ゲート制作委員会発足！



↑昨年度のゲート(正門前)のようす

今年度もポスター・ゲート制作委員会が5月に発足しました！ポスター・ゲート制作委員会は、委員会内でポスター班とゲート班に分かれていて、ポスター班が吉祥祭パンフレットの表紙、チケット、ポスターを、ゲート班が吉祥祭当日に正門に飾られるゲートをそれぞれ制作しています。中学二年生から高校二年生までの有志メンバー(今年度は50人ほど)で構成されていて、各班の高2リーダーを中心に制作を進めています。

今回の“NEWS 吉祥祭”では、ポスター・ゲート制作委員会の各委員長と、吉祥祭実行委員長との対談を行いました！

対談：ポスター・ゲート制作委員長×吉祥祭実行委員長

「“かたち”をつくりあげる難しさ」

長い制作の道のり

吉祥祭実行委員長(以下、吉) いよいよポスター・ゲート制作委員会が発足しました！ポスターもゲートも、吉祥祭のいわゆる『顔』なので、今から完成が楽しみです。さっそくですが、ポスター・ゲート制作委員会では、毎年どのように制作を進めているのですか？

ポスター制作委員長(以下、ポ) ポスター班では、まずはじめにメンバーが集まってから、ゲート班と一緒に共通モチーフを決めるんです。今年は共通カラーもあるのですが、これらを決めているのは、ポスターとゲートとで共通性を持たせるためなんです。毎年、吉祥祭のテーマに沿って、全員で意見を出し合って決めています。今年度は、『基板』が共通モチーフ、黄色が共通カラーに決まりました。



↑昨年度のポスター

TOPIX ↓ポスター・ゲート制作委員会

NEWS 吉祥祭

広報PDF第二号

発行日：二〇一五年七月十一日

発行：吉祥祭実行委員会

そのあとは、ポスター班だけの活動になって、一日一枚各自ラフスケッチを描いてくるんです。大体こんなポスターがいいかなっていう大まかなスケッチですね。これを6月の終わりまで続けて、そのあと一番いいポスターを決めます。ストレートにそのポスターが、そのまま本当のポスターになればいいんですけど、なかなかそうもいかず…7月の期末考査前が一番忙しいですね。

さらにそのあとは吉祥祭実行委員会による審査があって、それに向けて資料を作って、そこで、こんなポスターにしたい！っていうプロデュースをするんです。

査 その前から一部の実行委員会メンバーとはやり取りをしていますが、実行委員会全員の前でポスターを見せるのはここが初めてになるんですよね。ここで吉祥祭のテーマをより反映できるようにこちらから意見出しをさせてもらったりして…。

ポ そうなんです。その審査でもらった意見を参考にしながら、7月下旬をめどに、より見やすいポスターに仕上げていきます。制作はここまでで終わりなのですが、入稿をした後に色校正という作業が入ります。ポスターを印刷所の方に出した後、例えば『こちょっと赤すぎる』とか、細かいところを修正していきます。これでようやくポスターが完成しますね。より見やすく、吉祥祭の感じが出ていて、テーマの意味を汲み取っている…だけど説明的でない、面白みのあるポスターを目指しています！とても難しいことですけどね…。

査 なるほど…なかなか根気のいる作業ですね…では、ゲート班の制作の方はどのように進めていますか？

ゲート制作委員長(以下、ゲ) 序盤は、ポスター班リーダーも言っていたように、ポスター班と合同で共通モチーフを決定し、そのあとはゲート班単独で作業していきます。今日も集まりがあったのですが、ゲートはやっぱりポス

ターと違って全体を考えるのが難しいと思うんです。そういう時は、使いたい色とか、看板だけでもいいので、思いつくところから案を出してもらいます。それで皆の案を見て、このモチーフいいかも、とか、この色いいかも、と思ったらまた自分のなかでイメージを膨らませていって…3、4回集まって案を出してもらって、そのあと高2が皆の出してくれた案をもとにまとめていきます。最後の決定が高2になってしまうのが申し訳ないですが、やっぱり吉祥祭のテーマから大きく外れていたりするのは、いくら面白くても取り除かなければならないので…高2が冷静になってみるしかないですね。それで大体のデザインが決まったら、ポスター班と同じように吉祥祭実行委員会の審査を受けます。どんな意味をモチーフに込めたのかとかを説明して…。

ここからがゲート班は長いんですけど、夏休みから9月の初めの方まで、皆で集まって、つなぎを着て、いよいよ制作にとりかかるんです。メンバーは全体で40人くらいいるんですけど、やっぱり夏休み中に参加できる人は限られていて…予め出欠を聞いておいて、つくる時はつくる！逆に休むときはきっぱり休む！というようにメリハリをつけるようにしています。それで、9月に入るといよいよ、という感じであつという間に過ぎていくんですが、準備期間がやっぱり精一杯で…

査 ポスター班の制作が大体8月に終了するのに対して、ゲート班は準備期間までできないんですよね…

ゲ だから準備期間までちょっとドキドキが続く、といえますか…安心できないですね。

査 夏休みや9月の初めは、部分的なパーツを制作しているんですか？

ゲ そうですね。作ったパーツを集めておいて、準備期間の2日間で組み立てていくわけですけども、



ポスター・ゲート制作委員会
初めての会合の様子 ←

ここ最近の傾向として、先生方の手を借りず、生徒だけで組立てを行う、というものがあって。前は危険だから出来なかったそうなんですけど、最近は生徒だけでも持ち上げられるように、部品を軽量化しているんです。**査** とはいえ、部品一つが大きかったり、中には吊ったりしているものもあって、組立ては大変そうです。

ゲ だから本当に安全第一で、無理せず組み立てていきたいですね。

テーマを表現する

査 今年度の吉祥祭のテーマは『産業社会』ですが、与えられたテーマを絵や立体で表現するのは、やはり難しいのでしょうか？

ポ ポスターの場合は、下手にやるとただの説明になってしまうんです。見づらくなるし、果たしてこれは吉祥祭のポスターなんだろうか、というものが出来てしまうことが多いですね。

ゲ 文化祭の“顔”になりますからね…

ポ だから吉祥祭実行委員会の方で、割と幅を持たせてしっかりと考えてもらおうと思っている吉祥祭のテーマを落とし込んでいくのは難しいことだとは思いますが、その分将来的にポスターとかをやってみたいと思っている人にはすごく勉強になると思います。



メンバーが集まって案出し
する様子です

ゼ テーマ、という言葉から広げていくのは難しいと思うんですけど、テーマの裏の狙いみたいなものから離れすぎてしまうとおかしいし…ただ、まじめに作りすぎてしまうと…入ってきたお客様が、見て楽しいなと思ってくれるのが嬉しいので、逆にすごく立派な意味合いはありそうだけど何だか見ていて面白くないな、と思われてしまうと悲しいですね。やっぱり遊ぶところと真面目なところのバランスが大事かな、と思います。

吉 繰り返しになりますけど、やっぱりゲートもポスターも吉祥祭のビジュアル面での象徴になりますから…吉祥祭のテーマをいかにお客様に一番伝わるように作るのか、というのはとても難しいですね。

ポ そこは忘れがちなんですけど、やっぱりお客様に向けて楽しい吉祥祭を発信するんだよ、というのが意識していかなければならないところなんだと思いますね。

“吉祥祭”のテーマ

ゼ そういえば、とても気になっていたことなのですが…吉祥祭実行委員会では、どういう風に、どんな経緯でテーマを決めているのだろうか…と。

吉 吉祥祭実行委員会は、中3から高2まで各学年9人ずつ、計27人で構成されているんですけど、その27人

が3月に集まって一番最初にする仕事が、吉祥祭のテーマ決めなんです。毎年決め方が同じ、というわけではないんですが、全員で意見出しをして、その意見をどんどん集約していきつつ、議論して…何を議論するかというと、例えば社会問題性があるか、とか、“今年の”テーマとしてふさわしいか、単純だけれどインパクトがあるか…とかですね。

皆の意見を集めて、1つのものにしていく、という点ではポスター・ゲート制作委員会の共通モチーフ決めと似ているかもしれません。だいたい一週間くらい、ひたすらひたすら議論を続けて、一つのテーマを掲げるんです。

ゼ でも、私たちはテーマを与えられて、そこからアイデアを膨らませていく…いわばヒントをもらっているから考えられるんですけど、最初から生み出すっていう、“真の生みの苦しみ”のようなものがあるんじゃないか、と。

吉 いや…でも、吉祥祭って吉祥生が作り上げて、展示なり劇なりにして何かしらのメッセージを発信していくものなので、あまりにも私たちからかけ離れたものってテーマになり得ないんですよ。だから私たちが知っている情報から広げられると思うんです。日常の中にヒントがころがっている、といった感じなので、全くノーヒントっていうわけではないですね。ころがっているものに気付けるか、否かの問題です。もちろん、色々拾い上げてきたものから1つのテーマを掲げるのは難しいですが…。

ゼ なるほど。その難しさはあっても、何かを伝える目的を持って文化祭を開催するのは、意味のあることですね。

リーダーとしての姿

吉 リーダーとして大変なことって何かありますか？

ポ あんまり今までリーダー的な役職についていたこともなか

ったから私自身慣れていないというのがありますし、美術って個人作業が多いんですけど、それをひとつのチームになって、皆で一つのものを作るっていうのはやっぱり難しいですね。それに皆の意見を集約しつつも、どうしても切り捨てなければならぬところもあるんですけど、それでもある程度皆が納得できるように、リーダーの意見を通すだけでは駄目だし、だからといってハチャメチャなまま終わってもいけないし。そこの筋を通さなくてはならないのがすごく難しいところだなあと思います。

吉 さっきから話していますが、やっぱり後輩とか、皆の意見をどうしても切り捨てなければならぬところが一番苦しいところですよ。『考えてね』って言って、一生懸命考えてもらったのに…

ゼ 切り捨てられた方も『私のアイデアの方がいいじゃない！』と思っているかもしれないですね！

吉 単なる人の集まり、じゃなくて有志のメンバーなんですよ。ポスター・ゲート制作委員会も吉祥祭実行委員会も。やりたい、っていう意志のある人たちの集まりで。

ポ そうなんです。それだけかけてくれる情熱があるので、それはなるべく反映できるようにはしたいですね。吉祥祭実行委員会と、監督して下さる美術の先生方と折り合いをつけて、いいデザインができれば、と思います。

吉 そうですね。ゲート班の方はどうですか？

ゼ ポスター班と被るところもあるのですが…やっぱり大工仕事とか、吉祥祭当日までにゲートが組み立てられなかったらそこで終わり、という感じがあるので、どうしても皆に効率的に動いてもらわないといけないところがあって。人によってリーダー像って違うと思うんで

すけど、私は皆がついてきたくなるようなリーダー、というよりは、黙々とやっている姿を示して、皆も考えてね、といった姿勢のリーダーかな、と思うんです。リーダーによっては、強引に叱ってまでも“ついてきて”、っていう人と、“皆楽しいよ、おいで”っていう人と…それは色々あって面白いと思うんですけど、私は自分にないところを見せるよりは、真面目にやっているところを見せて、皆に“あ、ついていかなきゃ”と思ってもらえるようなリーダーになれるといいな、と思いますね。このリーダーの下だと働く気がしない、と思われるリーダーにはならないように自分の中でも課題を見つけて、どうしたら皆が気持ちよく働けるか、を探っていきたいです。やっぱり皆が楽しく働けるのが一番、という気がします。

ポ そうですよ。だって、“チーム”なんですから。

吉 リーダーの人こそ全員と同じ目線になって一番率先して働く、というのが基本だと思います。言葉で制するにしても、そういう基本をしっかりこなしている人から発せられる言葉って重みがあると思うんですよ。

ポ 常にレベルは高く、目標は高いかないといいものは出来ないと思います。

吉 我々も超えたいと思うものがありますからね！

吉祥祭に向けて

吉 では最後に意気込みを。

ポ 分かりやすく、楽しく、そしてお客さんが来てくれる、吉祥祭の顔になるポスターを作れるよう頑張っていきます！期待に応えられるように！

吉 吉祥祭に来て、見た人が、いいなって…いいな、っていうのに理由はないと思うんです。あとから探せば色とか形とかがいいんだけど、見た瞬間に今年のゲートは楽しくいいな、と思ってもらえるものを作りたいですね。それとやっぱり、これはどうしてこういうモチーフを選んだのだろう、何か意味があるのかな、と少しでも考えてもらえるようなものを作りたいと思います。あとは、安全第一でいこうと思います！

吉 お客様にテーマについて少しでも考えていただく、感じていただく、というのもそうなのですが、何より吉祥生の日頃の成果を見て頂けるような吉祥祭にしたいと思います。第77回吉祥祭が、吉祥生、お客様、その他関わったすべての人にとって、輝けるものとなるよう、精いっぱい力を尽くしたいです。

それでは皆さん、当日まで色々大変なことがあると思いますが、頑張ってください！ありがとうございます！

吉祥祭実行委員会活動記録

吉祥祭実行委員会は、9つのセクションに分かれています。中学3年生から高校2年生までの3学年から、それぞれ9人のリーダーを選出します。計27人の吉祥祭実行委員会のメンバーは、高校2年生の各セクションのリーダーを中心として各々責任を持って仕事をこなし、吉祥祭の裏方として活動します。

ここでは、各セクションのリーダーによる、各セクションの仕事内容や吉祥祭への意気込み等の紹介をしていきたいと思います。

書記兼環境対策セクションリーダー

初めまして！第77回吉祥祭実行委員会書記兼環境対策セクションリーダーです。

書記としての仕事は、会議での板書及び書類作成、近隣の方々へのご挨拶や他校との交流などで、環境対策セクションリーダーとしては、文化部エコロジー班の統率、吉祥祭準備期間及び当日のゴミ回収などを行っています。最近は吉祥祭に参加する団体の一覧表を作成しています。

文化部の審査を経て、各団体が吉祥祭に向けて着々と準備を進めています。4月にテーマが発表されてから今まで、時の流れが速く感じ、ようやく実感が湧いてきました。吉祥祭当日を迎えることに不安を抱きつつも、周りの方々に支えて頂きながら、今自分がやるべきことを吉祥祭の裏方として、努めていきたいと思っています。今年度は過去最多来客数を更新することが目標です。ぜひ多くの方々に、吉祥生の熱意と努力の結晶である吉祥祭に足を運んで頂きたいです。そして、今年度のテーマである「産業社会」を通して、吉祥生、来客者の方々が何かを感じ、現代社会を見つめ直すきっかけとなればと思います。

吉祥祭まであと

70日…

(7月11日(土)時点)

いよいよ吉祥祭当日まで三桁をきりました！本格的な準備に入り、吉祥祭のかたちが見えてきたところです。

次号の発行は7月末～8月、各参加団体の紹介をする予定です。次号もよろしくお祈りします！